

「日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)」は、河川・流域再生に関わる事例・経験・活動・人材等を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい水辺再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的として、2006 年 11 月に(財)リバーフロント整備センターが設立した団体です。また、「アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)」の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、同時に、アジアの素晴らしい取組みを日本国内に還元する役割も担います。

目 次	Pages
➤ JRRN 活動報告	1
➤ 会員寄稿記事	4
➤ JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ	6
➤ 会議・イベント案内	7
➤ 冊子・ビデオ等の紹介	7
➤ 会員募集中	8

巻頭書記

下記にご報告する通り、第 5 回 JRRN 河川環境ミニ講座が開催され、講演していただいたイギリス・マージ川流域キャンペーンの Walter Menzies 氏。彼が帰国後、日本で撮影した写真を私たちに紹介してくれました。写真が好きで腕も立つのですが、私たちが住む日本が全く違う世界に見えました。不思議なものです。当たり前の毎日の中から新しいことに

気づく、そんな機会を大切にしたいと感じました。

さて、本号では、第 5 回 JRRN 河川環境ミニ講座の開催報告を始めとする JRRN 活動報告を 3 点、会員投稿記事として、「中国東北地方の河川風景」及び「水辺からのメッセージ No.13」をご紹介します。引き続き、JRRN 会員皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

JRRN 活動報告(1)

第 5 回 JRRN 河川環境ミニ講座「流域連携による河川再生～イギリス・マージ川流域キャンペーン」開催報告 (平成 22 年 5 月 11 日開催)

平成22年5月11日(金)、(財)リバーフロント整備センターにて第5回JRRN河川環境ミニ講座「流域連携による河川再生～イギリス・マージ川流域キャンペーン」を開催いたしました。

今回は、イギリス・マージ川流域キャンペーン専務理事である Walter Menzies 氏を講師としてお招きし、「流域連携による河川再生～イギリス・マージ川流域キャンペーン」をテーマにご講演頂くとともに、参加者との活発な意見交換を行いました。



Walter Menzies氏 (写真左)

講演では、マージ川のある英国リバプール市の産業革命から衰退に至る歴史説明から始まり、1980年代前後のマージ川水質悪化状況について当時の写真も含めご紹介頂きました。続いて、経済と社会と自然環境の再生を三つの柱としたマージ川流域キャンペーンについて、その目的やコンセプト、戦略とともに、25年に及ぶ具体的な活動内容や、キャンペーン成功の鍵となる主要な要素について詳しくご説明を頂きました。



〈マージ川流域ネットワークの3つの目的〉

1. 2010年までにマージ川流域一帯の水質をいい状態に改善し、すべての河川に魚がすめるような状態にする。
2. ビジネス、レクリエーション、そして、住宅、環境、歴史的な遺産のために、魅力的な水辺の開発を行う。
3. マージ川流域に住む人たちが、水路、また、水辺の環境を大切に思い、大事にするよう、促していく。

持続可能な発展のためには、パートナーシップの協力が重要であること。パートナーとは、民間企業・行政・地域住民です。

また、キャンペーンのやり方として、5つのコンセプトが挙げられました。

まず1つ目は、影響を与えるということ。地域全

体の意見や優先順位に影響を与えていく。2つ目は、可能にするという。キャンペーンの主催者側とパートナーが協力して事業の実施を可能にしていく。3つ目は、パートナー同士を仲介することによって共通の土台を提供していく。4つ目は、事業を強化することによって、付加価値を与えて、パートナーがより高い目標を持てるようにする。5つ目は、キャンペーンのメッセージを伝え、新しいアイデア、懸念には聞く耳を持つてみる。

意見交換では、マージ川流域キャンペーンの組織に関わる質問が特に多くように思いました。河川再生の事例としてだけではなく、我々河川・再生流域ネットワークのあり方についてもとても参考になりました。

Walter氏も東京とリバプールはとても似ているとおっしゃっていました。私たちは海外の中でも、こうした日本に似ている環境での事例が重要です。今回の講座は、参加者の方からもご好評いただき、事務局としてこのような機会をご提供できたことをうれしく思っています。



事務局関係者との集合写真

なお、当日の配布資料等はホームページで公開しています。後日公開する議事録もぜひ読んでください。(詳しくはこちら↓

<http://www.a-rr.net/jp/info/letter/eventreport/2132.html>

(JRRN 事務局 沼田彩友美)

(参考) 5/11 開催「第5回 JRRN ミニ講座」における発表内容より

マージ川流域キャンペーン 25 年間の活動を振り返っての「決定的成功因子(Critical Success Factors)」

- (1)Vision: 明確な未来像、(2)Regulator: ルールを定めること、(3)Partnership: 連携、
- (4)Engineer & Resources: 技術者とコア技術・資金、(5)Adaptability: 適応力(柔軟性)
- (6)Time scale: 期間設定、(7)Delivery: 行動すること、(8)Communications: 対話すること
- (9)Leadership: 統率力、(10)People: 組織より人が大事、(11)Challenges: 挑戦

JRRN 活動報告(2)

「JRRN ニュースメール」300 号達成

JRRN事務局より週二回配信している「JRRNニュースメール」が、2010年5月24日（月）配信号をもちまして第300号に到達しました。

昨年9月に韓国にて開催された「第4回ARRN運営会議」協議に基づき、各国内ネットワークの活動内容や河川再生関連情報を共有するため、本ニュースメールの英訳版を月一回を目標として海外のARRN関係者にも配信しております。

JRRN会員のニーズにお応えする情報媒体となるよう、引き続きニュースメールの定期配信及び質の向上に努めてまいりますので、皆様からのご意見やご要望もお待ちしております。

◆バックナンバーはこちらから

<http://www.a-rr.net/jp/info/letter/newsmail/>

(JRRN 事務局 和田彰)

JRRN 活動報告(3)

『桜のある水辺風景 2010』 ご応募ありがとうございました

JRRNでは、水辺の美しさや人々との関わりについて考えるきっかけづくりを目指して、2010年に撮影された「桜のある水辺写真」をJRRN会員より募集し、9名の方々より素敵なお写真をご応募頂きました。応募頂きました写真とコメントを取りまとめた『桜のある水辺風景2010』写真集を現在編集中です。完成次第、以下のホームページ上でご紹介させていただきます。



◆ダウンロード先（掲載準備中）

<http://www.a-rr.net/jp/info/letter/publication/>



なお、皆様からご応募頂きました桜のある水辺風景写真を通じ、日本の魅力を再発見することができました。今回ご応募頂きました方々に厚く御礼申し上げます。また、来年（2011年）も本企画を予定しておりますので、皆様から多数のご応募をお待ちしています。

(JRRN 事務局 和田彰)

会員寄稿記事(1)

中国東北地方の河川風景

寄稿者：財団法人リバーフロント整備センター 水辺まちづくりグループ
主席研究員 江橋 英治（JRRN 会員）

5月の連休に中国東北部を旅行で訪れた際、河川の風景を写真におさめた。

①黒竜江省の省都哈爾濱（ハルビン）市を流れる大河川松花江：1957年に大洪水があり、その洪水勝利を記念した塔まで建っている大河だが、休日ともなるとしっかり固めた階段護岸に多くの人出がある。

②吉林省の省都長春市の伊通河：過去には満州国の首都として、威信をかけて都市計画され、河川のための空間も十分確保された。現在でも、豊かな水面の確保された空間として整備されている。



①【松花江】(哈爾濱市)：市を貫流する大河川



②【伊通河】(長春市)



③【自由河の下流部】(大連市)



③【道路脇の河川】(大連市 大連～旅順間)

水辺からのメッセージ No.13

国土文化研究所 主任研究員 岡村幸二 (JRRN 会員)

水利権外の水で水路復元

堀川の記憶を残す：地域の思いはかつての“運河”のカタチを残し後世に引き継ぐこと



撮影：2010年5月（京都市上京区堀川町）

◆水利権外の水量により流れを復活

50年前にはコンクリートで河床を固められていた水路を、130人の市民ワークショップを力に親水水路として復活させました。琵琶湖疎水第二分線（南禅寺水路閣）の水を引いて、賀茂川をサイフォンでくぐり、紫明通、堀川通の地下に導水路を設けて水を引いています。

※国土文化研究所は、株式会社建設技術研究所のシンクタンク組織です。

■ JRRN 会員皆様からの寄稿記事を募集しています！

旅先で見かけた水辺の風景や思い、水辺再生に関わる様々な活動報告、また河川環境再生に役立つ技術等、JRRN 団体・個人会員皆様からの寄稿記事をお待ちしています。（JRRN 事務局）

JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ

【JRRN 会員からの提供情報】

JRRN 個人会員より、アメリカにおける河川・流域再生や水環境に関わる複数の報道記事情報をご提供頂きました。

すべての英文報道記事に対し、日本語仮訳資料もご提供頂いております。

●ダム(堰) 撤去に関する報道記事



→<http://www.a-rr.net/jp/exchange/docs/04-0039.pdf>

●Anacostia 川復元計画に関する報道記事



→<http://www.a-rr.net/jp/exchange/docs/04-0040.pdf>

●メキシコ湾原油流出による海岸汚染に関する報道記事



→<http://www.a-rr.net/jp/exchange/docs/04-0041.pdf>

【JRRN 会員からの提供情報】

JRRN 団体会員である社団法人日本河川協会から「河川文化を語る会」のイベント案内です。

【第 145 回】

◆テーマ:「歴史事象としての河内の洪水と大和川の付け替え～洪水対策 300 年事後評価」

◆講師: 佐藤 洋一郎氏 (総合地球環境学研究所副所長)

◆日時: 平成 22 年 6 月 21 日 (月) 18:00～20:00

◆場所: 厚生会館 (全国土木建築健保)

http://www.japanriver.or.jp/kataru/kataru_no145.htm

【第 146 回】

◆テーマ:「パリがセヌに沈んだ日～1910 年パリ大洪水から 100 年」

◆講師: 佐川美加氏 (セヌ川研究者)

◆日時: 平成 22 年 7 月 26 日 (月) 18:00～20:00

◆場所: 厚生会館 (全国土木建築健保)

http://www.japanriver.or.jp/kataru/kataru_no146.htm

【JRRN 会員からの提供情報】



「淡水魚保全シンポジウム 三重県明和町大会～水辺へのやさしい関わり方をもとめて」に関わるイベント情報を御提供頂きました。

※詳細は以下参照

<http://www.a-rr.net/jp/exchange/event/2149.html>

【JRRN 会員からの提供情報】

JRRN 会員よりイベント情報「農地に水を運ぶしくみ・水路や田んぼの生きものを知ろう」を御提供頂きました。



※詳細は以下参照

<http://www.a-rr.net/jp/exchange/event/2155.html>

【海外からの情報提供】

■ECRR ニュースレターの最新号発刊

ECRR (ヨーロッパ河川再生センター) 最新ニュースレターを ECRR 事務局より送付頂きました。

本年より ECRR 事務局がイタリアからオランダへと移管し、オランダ事務局作成のニュースレター第 1 号となります。(英語版)

※詳細は以下参照

<http://www.a-rr.net/jp/exchange/news/2147.html>

【海外からの提供情報】

■「マージ川流域キャンペーン」ウェブサイト



25 年間に及ぶイギリス・マージ川流域での河川・流域再生活動が 2010 年 3 月に終了致しました。

本活動成果を集約したホームページを「マージ川流域キャンペーン」専務理事・Walter Menzies 氏よりご紹介頂きました。(英語版)

※URL: <http://www.merseybasin.org.uk/>

会議・イベント案内 (2010 年 6 月以降)

(ARRN・JRRN 主催・共催の会議・イベント)

■第 7 回 ARRN 水辺・流域再生に関わる国際フォーラム

- 開催時期：平成 22 年 9 月 12 日～16 日の間のいずれか 1 日
- 開催場所：韓国・ソウル市（第 8 回生態水工学国際シンポジウム ISE2010 内の特別セッションとして開催）
- 講師：ECRR（ヨーロッパ河川再生センター）会長、日本・中国・韓国・台湾・マレーシアより各 1 名
- URL：<http://ise-2010.org/>

(その他の河川再生・河川環境に関する主なイベント)

■2010 年度・河川技術に関するシンポジウム

- 日時：2010 年 6 月 3 日（木）～4 日（金）
- 主催：土木学会(担当：水工学委員会河川部会)

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/2157.html>

■日本の“いい川”シンポジウム in 北海道

- 日時：2010 年 6 月 12 日（土）～13 日（日）
- 主催：日本の“いい川”シンポジウム実行委員会

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/2144.html>

■農地に水を運ぶしくみ・水路や田んぼの生きものを知ろう

- 日時：2010 年 6 月 13 日（日）
- 主催：errp 研究グループ

<http://www.a-rr.net/jp/event/02/2156.html>

■「水のまちの記憶 中央区の堀割をたどる」シンポ

- 日時：2010 年 6 月 13 日（日）14:00～
- 主催：東京都中央区

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/2135.html>

■第 34 回 多摩川流域セミナー

- 日時：2010 年 6 月 19 日（土）13:00～17:10
- 主催：多摩川流域懇談会

<http://www.a-rr.net/jp/event/02/2146.html>

■第 145 回河川文化を語る会

- 日時：2010 年 6 月 21 日（月）18:00～20:00
- 主催：社団法人日本河川協会

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/2089.html>

■第 146 回河川文化を語る会

- 日時：2010 年 7 月 26 日（月）18:00～20:00
- 主催：社団法人日本河川協会

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/2174.html>

■淡水魚保全シンポジウム 三重県明和町大会

- 日時：2010 年 8 月 5 日（土）13:00～17:10
- 主催：明和町大会実行委員会

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/2148.html>

■第 18 回リバーフロント整備センター研究所報告会

- 日時：2010 年 9 月 10 日（金）
- 主催：(財)リバーフロント整備センター

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/2107.html>

■歴史的用水国際シンポジウム in 金沢

- 日時：2010 年 10 月 14 日（木）～15 日（金）
- 主催：歴史的用水国際シンポジウム実行委員会

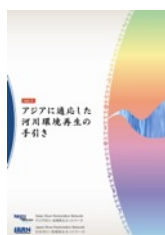
<http://www.a-rr.net/jp/event/03/2154.html>

冊子・ビデオ等の紹介

■ アジアに適應した河川環境再生の手引き ver. 1

(2009. 3 発刊)

- ・発行：アジア河川・流域再生ネットワーク (ARRN)
- ・価格：無 料



ARRN が今後作成を目指す「アジアにおける河川再生技術指針」の入門編として、非専門家の方々にも河川再生の意義やアプローチを理解して頂くことを目的に、写真や図を主体に平易な解説文を添えて作成致したものです。

本手引きをご希望される方は、「(財)リバーフロント整備センター企画グループ」までご連絡ください。送料のみご負担いただいた上で、無料で提供致します。
電話：03-6228-3860 / Fax：03-3523-0640

■ にっぽん自然再生紀行 (2010. 4 発刊)

- ・著者：鷲谷 いづみ
- ・出版社：岩波書店
- ・発行年月：2010 年 4 月
- ・価格：¥ 1,575 (税込)
- ・ISBN：978-4000295697



本書は、自然を再生し生物多様性を取り戻すために各地で奮闘する人々を訪ねたガイドブックです。

会員募集中

■ JRRN の登録資格（団体・個人）

JRRN への登録は、団体・個人を問わず**無料**です。
市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、
所属団体や機関を問わず、河川環境の整備・改善に携
わるすべての方々のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

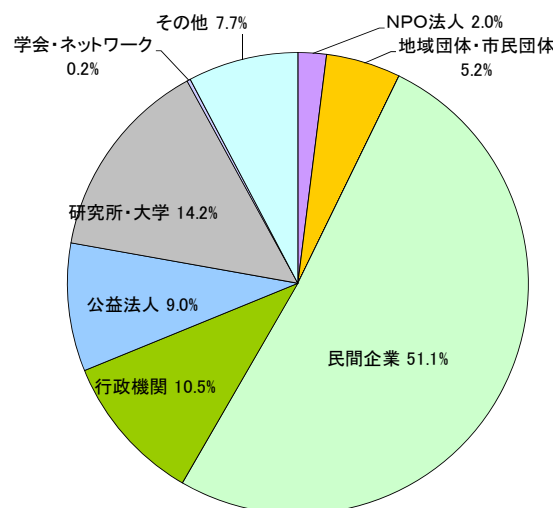
会員登録をされた方々へ、様々な「会員の特典」を
ご用意しています。

- (1) 国内外の河川環境に関するニュースを集約した
「JRRN ニュースメール」が週に 1 回～2 回メール
配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が
入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参
加することができます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集
の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベ
ント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河
川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支
援を受けられます。

■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/info/member.html>



2010 年 5 月 31 日時点の個人会員構成
(個人会員数：436 名、団体会員数：18 団体)

JRRN 会員特典一覧表(団体会員・個人会員)

JRRNが提供するサービス		JRRN 団体会員	JRRN 個人会員	非会員 (一般の方)
1	ホームページへのアクセス及び各記事へのコメント入力 ^{※1}	◎	◎	◎
2	ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載 ^{※2}	◎	◎	◎
3	ニュースメール(週2回)の配信 ^{※3}	◎	◎	×
4	Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信 ^{※3}	◎	◎	×
5	JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加 ^{※4}	◎	◎	×
6	国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援 ^{※5}	◎	◎	×
7	ホームページ「最近の話題・ニュース」及びニュースメール「会員提供情報」欄で 団体が関わる行事や出版、技術や製品等の案内の掲載 ^{※6}	◎	△ ^{※7}	×
8	ホームページ「会員登録」「人・組織のつながり」欄及び年次報告書内で団体 名の掲載	◎	×	×
9	ARRN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信 ^{※8}	◎	×	×
10	JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援 ^{※9}	◎	×	×

【発行・問合せ先】



日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局

財団法人リバーフロント整備センター 内

〒104-0033 東京都中央区新川 1 丁目 17 番 24 号 ロフテー中央ビル 7 階

Tel: 03-6228-3860 Fax: 03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net URL: <http://www.a-rr.net/jp/>

※JRRN 事務局は、「アジア河川・流域再生ネットワーク構築と活用に関する共同研究」の一環として、財団法人リバー
フロント整備センターと株式会社建設技術研究所が運営を担っています。